

第1回 神戸港カーボンニュートラルポート(CNP)検討会 議事概要

日時:令和3年1月28日(木)10:00~12:00

場所:近畿地方整備局 神戸合同庁舎6階 局議室 (WEB 併用)

●議事

- ・神戸港 CNP 検討会開催要綱(案)について
- ・神戸港 CNP 検討会の進め方について
- ・脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化について
- ・具体的な取組イメージについて
- ・神戸港における脱炭素化に向けた取組について

●主なご意見

- 目標を決めて進めつつ、状況の変化に臨機応変に対応するダイナミックケイパビリティという考え方が重要。
- 神戸港はカーボンニュートラルポートの条件が整っている。スピード感を持って進めてほしい。
- 神戸港での水素燃料の供給方法・体制の確立をお願いしたい。
- 荷役機器のFC化に向けては、公的補助やインセンティブをお願いしたい。
- FC化を進める上で港湾内に水素ステーションの設置が必要となってくる。
- 船舶や荷役機械等を電化あるいはFC化するにあたり、両者の特質を見極めながら価格が安い方を採用するベストミックスが大切。
- 液化水素燃料タンクやCGS等の既存インフラを有効活用するべき。
- 上屋や倉庫群でカーボンニュートラル化を進めるには、その必要性を浸透させていくことが課題。
- 在来貨物のユニット化により、フォークリフト等の稼働量そのものを抑制することも必要。
- 安全性について早いうちから地元自治会・住民の理解を得ながら進める必要がある。